

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-289136

(43) 公開日 平成7年(1995)11月7日

(51) Int.Cl.⁶

A 0 1 K 97/10

識別記号

Z

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平6-84865

(22) 出願日 平成6年(1994)4月22日

(71) 出願人 594069797

石田 孝美

兵庫県養父郡八鹿町八鹿48の2番地

(72) 発明者 石田 孝美

兵庫県養父郡八鹿町八鹿48の2番地

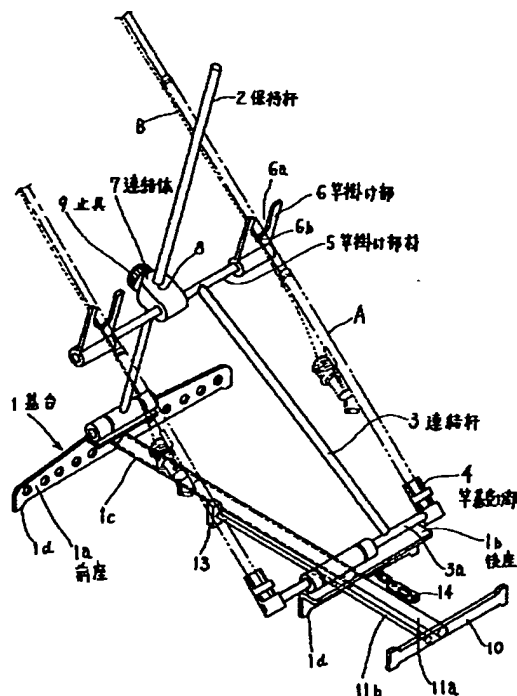
(74) 代理人 弁理士 角田 嘉宏

(54) 【発明の名称】 釣り竿保持装置

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 設置が簡単にできるとともに、釣り竿の保持角度も簡単に広範囲で変更可能な釣り竿保持装置を提供する。

【構成】 前座1aと後座1bを有する基台1と、前座1aに基端を枢着した保持杆2と、後座1bに基端を枢着した連結杆3と、連結杆3先端に設けた竿掛け部材5と、該竿掛け部材5に装着されるとともに、止具9を有し、保持杆2に対して適宜位置に固定可能に嵌着した連結体7を備え、前記連結杆3の枢軸部に竿基受け部4を設け、該竿基受け部4に対応して竿掛け部材5に竿掛け部6を設けた釣り竿保持装置である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 前座と後座を有する基台と、前座に基端を根着した保持杆と、後座に基端を根着した連結杆と、連結杆先端に設けた竿掛け部材と、該竿掛け部材に装着されるとともに、止具を有し、保持杆に対して適宜位置に固定可能に嵌着した連結体を備え、前記連結杆の枢軸部に竿基受け部を設け、該竿基受け部に対応して竿掛け部材に竿掛け部を設けたことを特徴とする釣り竿保持装置。

【請求項2】 保持杆に対して竿掛け部材が最下降位置にある状態で、基台に対して保持杆が略直立または僅かに後傾するように連結杆の長さを設定したことを特徴とする請求項1記載の釣り竿保持装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は釣り竿を略直立した位置から横倒した位置まで任意の角度に保持できる釣り竿保持装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、釣り竿を適宜の角度を付けて保持し、手放しの状態で魚釣りができる装置としてはさまざまな構成の装置が提案されている。その中には、基枠に釣り竿据付部を往復運動、円運動などの運動可能に据付け、その据付部に釣り竿の握り部側を脱着可能に据付け固定し、魚は動いている物によく食いつくという魚の習性を利用し、釣り竿の釣り糸に備えた釣り針に取りつけた釣り餌を水中で動かして釣り成果を上げるようにしたものもある。(特開昭59-146530号公報参照)

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、釣り人は、釣り竿保持装置に釣り竿を預けた状態、つまり、釣り竿を保持装置に保持した状態にあっても、常に、釣り竿の先端部に注目して魚の食付きを釣り竿の先端部の微妙な動きから察知するものである。

【0004】従って、釣り人が釣り竿の先端部に注目する場合に、釣り竿の先端部を暗い色合いの陸地などを背景にして見るよりも、明るい色合いの空などを背景にして見るのが見やすいので、釣り竿保持装置としては、どんな釣り場でも簡単に設置できるとともに、釣り竿の先端部を見やすく上から釣り人の思い通りに釣り竿の保持角度が随時に簡単に変更できることが求められる。

【0005】しかし、上記する従来の釣り竿保持装置では、いずれも設置面に対して釣り竿の保持角度が固定的に設定されるか、たとえ、保持角度の変更が可能なものであっても、その角度変更がごく限られた小範囲での変更しかできないので、釣り人を満足させるものはなかった。

【0006】本願発明は、上記の点に鑑みなされたものであって、設置が簡単にできるとともに、釣り竿の保持

角度も簡単に広範囲で変更可能な釣り竿保持装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記する目的を達成するためのこの発明の第1の構成は、前座と後座を有する基台と、前座に基端を根着した保持杆と、後座に基端を根着した連結杆と、連結杆先端に設けた竿掛け部材と、該竿掛け部材に装着されるとともに、止具を有し、保持杆に対して適宜位置に固定可能に嵌着した連結体を備え、前記連結杆の枢軸部に竿基受け部を設け、該竿基受け部に対応して竿掛け部材に竿掛け部を設けたことを特徴とする釣り竿保持装置である。

【0008】第2の構成は、第1の構成における保持杆に対して竿掛け部材が最降下位置にある状態で、基台に対して保持杆が略直立または僅かに後傾するように連結杆の長さを設定したことを特徴とする請求項1記載の釣り竿支持装置である。

【0009】

【作用】第1の構成では、釣り場所で、前座と後座を接地させて基台を安定させ、竿基受け部に釣り竿の竿基を係止し、竿掛け部に釣り竿の対応箇所を掛けて釣り竿を保持し、この状態で止具を緩めて保持杆に対して竿掛け部材を移動させると、釣り竿を思い通りの角度に設定できるので、釣り効果を高くできる。

【0010】第2の構成では、第1の構成における作用を奏するとともに、片方の手で止具を操作し、他方の手で保持杆先端を持ってこれを傾動操作すると、この保持杆操作力の一部が保持杆に対して竿掛け部材を移動させる分力として作用するので、釣り竿の角度設定が素早く簡単にできる。

【0011】

【実施例】以下、この発明の実施例を図面に基づいて説明する。

【0012】図1はこの発明の装置の斜視図、図2は側面図である。

【0013】図において、1は基台で、適宜長さの細長い板材からなる前座1aと後座1bを適宜長さの管体からなる連結部材1cで連結したもので、前座1aと後座1bは連結部材1cの両端に直交状に固着しており、前座1aと後座1bの下縁に滑り止め用の接地縁1dを形成している。

【0014】2は前座1aに基端を根着した保持杆、3は後座1bに基端を根着した連結杆で、この連結杆3の枢軸3aを左右に延長して竿基受け部4を設けている。この竿基受け部4は釣り竿Aの竿基を局部的に囲むように構成したもので、竿基を長手方向に出し入れして保持するようにしている。

【0015】5は連結杆3の先端から左右張出状に設けた竿掛け部材で、両端に竿基受け部4に対応して竿掛け部6を設けている。この竿掛け部6は釣り竿Aの竿を落

3

とし込ませて保持する適宜深さの大きな凹部6aの底に釣り糸Bを通す小さな凹部からなる。

【0016】ている。なお、実施例のように2本の釣り竿Aを保持可能に構成する場合は、両方の竿基受け部4の離間距離に比べて両方の竿掛け部6の離間距離を僅かに大きく設定し、2本の釣り竿Aを保持した状態で、釣り竿A先端部を外向けに拡げて釣り糸Bの相互干渉を少なくするようにしている。

【0017】7は竿掛け部材5に対して回動自在に装着した連結体で、この連結体7に竿掛け部材5に直交して通孔8を設けて保持杆2を挿通させ、通孔8向けにねじ構造の止具9を取着しており、止具9を緩めた状態で保持杆2に対して連結体7は自由に移動でき、また、止具9を締め付けるとその位置に連結体7は固定できる。

【0018】こうして、保持杆2に対して竿掛け部材5を移動させる。

【0019】さらに、保持杆2に対して竿掛け部材5が最下降位置（保持杆2の基部寄り位置）にある状態で、保持杆2は基台1に対して略直立状とするか、僅かに後傾するように連結杆3の長さを設定しており、止具9を緩めた状態で保持杆2の上端部を持って保持杆2を後方に向けて押し倒すように操作すると、この操作力の一部が連結体7を保持杆2の上端向けに移動させる分力として作用し、釣り竿Aを保持したままで、竿掛け部材5に手を掛けることなくこれを上昇させることができる。

【0020】10は基台1に配装した移動座で、基台1を構成する前座1aまたは後座1bから平行状に接離自在にしたもので、形態的には前座1aおよび後座1bと同じくし、2本の平行する伸縮杆11a、11bを固着して一方の伸縮杆11aを管体からなる連結部材1c内に嵌挿してこの中から出入りするようにし、他方の伸縮杆11bを前座1aまたは後座1bに設けた通孔12に挿通して前座1aまたは後座1bに対して平行的に移動自在にしている。なお、図中13は伸縮杆11bの端部に着脱自在に取着した抜止めである。

【0021】この移動座10は、通常は、図3に示すように、後座1b側に配装して後座1b後方に移動させて基台1の安定性を高めるのに使用するが、釣り場所によっては、図4に示すように、前座1a側に配装替えして使用する。また、基台1を設置場所に固定するために、基台1の適所にリングやフックなどの固定用連係具14を設けている。この固定用連係具14に連係して使用する固定具としては、装置設置場所に合わせて汎用の釘やねじなどが使用される。

【0022】上記構成からなるこの発明の装置の使用法を説明する。

【0023】釣り場所に基台1を設置し、竿基受け部4および竿掛け部6に釣り竿Aを保持して使用するものであるが、基台1を安定させるために、必要に応じて固定用連係具14に固定具を連係使用して基台1をしっかり

4

固定する。また、基台1から移動座10を伸長させて使用する。

【0024】釣り竿Aの角度調整は、片方の手で保持杆2の上端部を持ち、他方の手で止具9を緩めた状態にして保持杆2を傾動させて行う。ここで、図2に実線で示すように、保持杆2の中間点に竿掛け部材5が位置して釣り竿Aが所定の角度を採っている状態から、保持杆2を後方に向けて押し倒すように操作すると、操作力の一部が連結体7を保持杆2の上向けに移動させる分力として作用し、保持杆2に対して竿掛け部材5が上昇させられて釣り竿Aが起立する。反対に保持杆2を前向きに引き起こすように操作すると、竿掛け部材5に掛かる重みで保持杆2に対して連結体7とともに竿掛け部材5が下降して釣り竿Aが伏倒する。こうして、釣り竿Aを保持したままで、釣り竿Aの先端部を見ながら所望の角度になった時点で止具9を締め付けて連結体7を固定し、竿掛け部材5を所望の位置に固定する。

【0025】なお、不使用時には、保持杆2から連結体7を外し、保持杆2を後向けに倒し、連結杆3を前向きに倒した状態にすると全体として嵩を小さくできるので、保管したり携行したりするのに便利となる。

【0026】

【発明の効果】以上説明した構成からなる第1の発明によれば、保持杆に対する竿掛け部材の固定位置を連続的に変えることができて釣り竿の保持角度を簡単に調整できるから、手持ちの場合と全く同じように釣り人の思い通りに釣り竿の角度を調整して釣り効果を高くできる。

【0027】また、第2の発明によれば、片方の手で保持杆の上端部を持ち、他方の手で止具を操作して保持杆を傾動させるだけで釣り竿の保持角度を大きくも微調整的に小さくも自由に調整できるから、取扱いが簡単になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の装置の斜視図である。

【図2】 この発明の装置の側面図である。

【図3】 移動座の使用態様を示す側面図である。

【図4】 移動座の使用態様を示す側面図である。

【符号の説明】

前座1aと後座1bを有する基台1と、前座に基端を根着した保持杆2と、後座に基端を根着した連結杆3と、連結杆先端に設けた竿掛け部材5と、該竿掛け部材に装着されるとともに、止具9を有し、保持杆に対して適宜位置に固定可能に嵌着した連結体7を備え、前記連結杆の枢軸部に竿基受け部4を設け、該竿基受け部に対応して竿掛け部材に竿掛け部6を設けた釣り竿保持装置である。

1…基台

1a…前座

1b…後座

2…保持杆

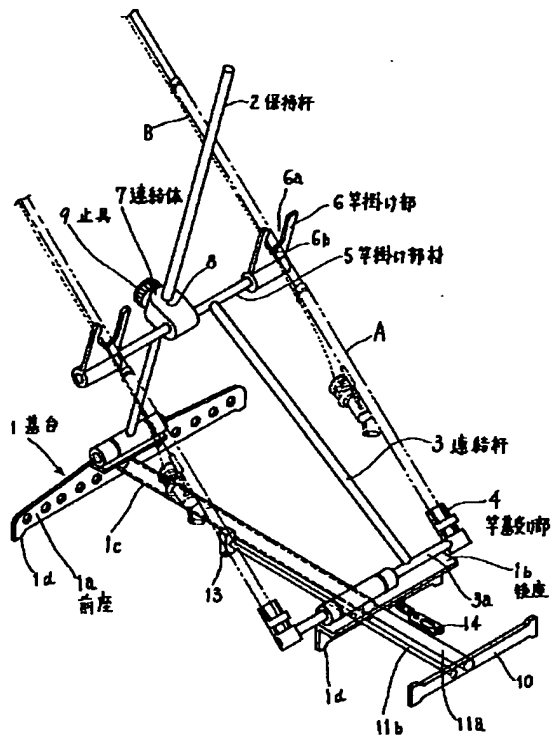
5

6

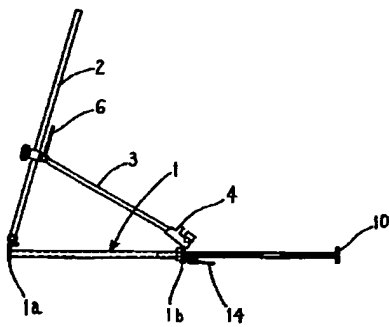
3…連結杆
4…竿基受け部
5…竿掛け部材

6…竿掛け部
9…止具

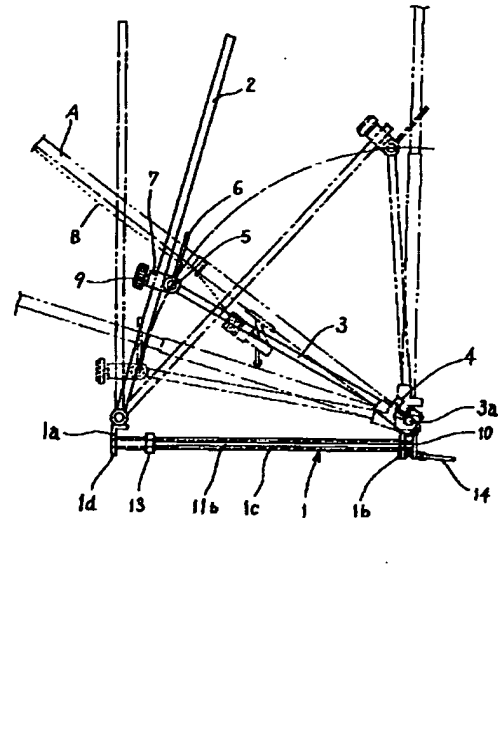
【図1】



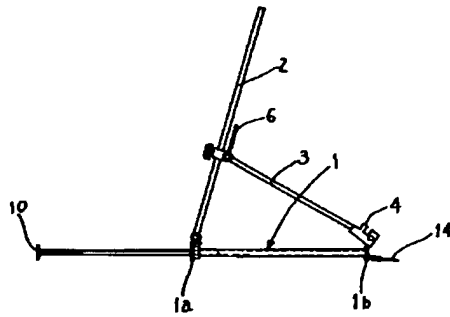
【図3】



【図2】



【図4】



PAT-NO: JP407289136A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07289136 A
TITLE: FISHING ROD HOLDING DEVICE
PUBN-DATE: November 7, 1995

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
ISHIDA, TAKAMI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
ISHIDA TAKAMI N/A

APPL-NO: JP06084865
APPL-DATE: April 22, 1994

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a fishing rod holding device easy to set up and enabling the holding angle of a fishing rod to be changed easily over a wide range.

CONSTITUTION: This fishing rod holding device is so designed as to be equipped with a base table 1 having both front seat 1a and rear seat 1b, a holding rod 2 with its basal end pivoted on the front seat 1a, a connecting rod 3 with its basal end pivoted on the rear seat 1b, a rod-suspending member 5 at the tip of the connecting rod 3, and a connecting body 7 fitted on the rod-suspending member 5, having a catch 9, and engaged with the holding rod in such a way as to be fixable at an appropriate position. In this case, the axis of the connecting rod 3 is fitted with a rod base-receiving part 4 and the

rod-

suspending member 5 is provided with a rod-suspending member 6
correspondingly
to the rod base-receiving part 4.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

DERWENT-ACC-NO: 1996-071386

DERWENT-WEEK: 199608

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Fishing pole maintenance implement - has pole hanging
part installed in pole hanging member
corresponding to receiving part

PATENT-ASSIGNEE: ISHIDA T[ISHII]

PRIORITY-DATA: 1994JP-0084865 (April 22, 1994)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 07289136 A	November 7, 1995	N/A
005 A01K 097/10		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 07289136A	N/A	1994JP-0084865
April 22, 1994		

INT-CL (IPC): A01K097/10

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 07289136A

BASIC-ABSTRACT:

The implement includes a base (1) with a seal (1b) and an opening performance part (1a) attached by a maintenance rod (2). A connection rod (3) attaches the end of the base to the post seat and a pole hanging member (5) is fixed at three points.

A hold back part hangs to the pole hanging member, which has a set of connection body (7) to properly position the maintenance tool. A receiving part is pivotted to the connection body for the positioning. A pole hanging part is installed in the pole hanging member corresponding to the

receiving
part.

ADVANTAGE - Eases handling. Enables tilting in large maintenance angle.

Features user friendliness. Offers high friction effect.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/4

TITLE-TERMS: FISH POLE MAINTAIN IMPLEMENT POLE HANG PART INSTALLATION
POLE HANG

MEMBER CORRESPOND RECEIVE PART

DERWENT-CLASS: P14

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1996-059812